

社会の課題を 多様な団体とつながることで 解決に導く

社会的連帯経済
の事例

コンパスナビ

一般社団法人コンパスナビをご紹介します。

さいたま市に拠点を持つコンパスナビは、社会的養育を必要とする若者に対し様々な支援を行っています。社会に巣立つ若者が公平なスタートラインに立つ機会を作りたい、そのために様々な団体や企業や自治体と連携しながら成果を上げています。

また、2018年に「埼玉県児童養護施設退所者等アフターケア事業」を受託しています。

人が社会生活を行っていくためには多くのものやつながりを必要とします。

特に過酷な幼少期を過ごし、親に頼れなかった若者には特別な配慮も必要であり、社会的機能も必要とします。



よりよい社会を目指すとき、多様な団体とのネットワークは欠かせません。

一つひとつは小さくてもそれぞれの特技、専門性を発揮することにより連携することで大きな力になります。また大きな課題の解決につながります。

日本ではまだ「社会的連帯経済」という言葉すら一般的ではありませんが、私たちが事業や活動の目的の達成、成果を出したいと考えるとき、連帯することを考えてみたいものです

